

平成 22 年度当初予算 施策別概要

610 みえ行政経営体系による 効率的で効果的な県行政 の運営
--

(主担当部 : 総務部)

- | | | |
|-------|----------------|-------------|
| 61001 | 体系的な行政運営の推進 | (総務部) |
| 61002 | 危機管理の推進 | (防災危機管理部) |
| 61003 | 簡素で効率的な組織運営の推進 | (総務部) |
| 61004 | 人材育成の推進 | (総務部) |

< 施策の目的 >

(対象) 県行政が

(意図) みえ行政経営体系により、全体最適な状態で運営され、質の高い行政サービスを提供している

< 施策の数値目標 > 21 年度実績値は 1 月末現在で把握できる見込み値を示しています。

施策目標項目 (主指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
全庁アセスメント結果の改善割合	目標値	-	27.0%	63.0%	86.0%	100.0%
	実績値	-	18.2%	54.5%		

県の組織運営の成熟度を把握するために、2006 年度 (平成 18 年度) に実施した外部審査である全庁アセスメントの審査結果を受けた課題の改善割合 (総務部経営総務室調べ)

県の取組目標項目 (副指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
みえ行政経営体系の主要なシステムに対する職員の理解度	目標値	-	80.0%	90.0%	95.0%	100.0%
	実績値	71.6%	74.7%	79.5%	82.2%	
職員満足度	目標値	-	62.0%	62.0%	66.0%	70.0%
	実績値	60.3%	60.5%	61.5%	61.9%	

< 進捗状況 (現状と課題) >

- ・ 「県民しあわせプラン」を着実に推進するために、厳しい財政状況、地方分権の進展等県を取り巻く環境の変化を踏まえ、県行政の効率化、重点化を図り、全体最適な状態で運営することが求められています。
- ・ みえ行政経営体系の主要なシステムに対する職員の理解度は年々向上してきていますが、取組目標には達していないことから、システムを円滑かつ効果的に運用するため、職員の理解向上に向けた取組を一層進めることが必要です。
- ・ 県行政の運営、政策の推進にあたっては、「文化力」と「新しい時代の公」の理念を踏まえるとともに、常に「誰のため、何のため」の県政かを意識し、県民の信頼を損なうことがないよう、適切な組織運営に取り組むことが必要です。

< 平成 22 年度の取組方向 >

みえ行政経営体系のマネジメントシステムを適切に運用するとともに、職員の理解向上に向けた取組等を引き続き進めていきます。

最適な県政運営のために、職員一人ひとりの気づきと納得に基づき、率先実行取組を着実に実行していきます。

危機管理については、危機発生の未然防止に努めるとともに、危機発生時に迅速かつ的確な

対応が行えるよう、引き続き、三重県危機管理計画に基づいて研修や訓練などを重点的に実施することにより、危機管理意識の徹底と、多岐にわたる危機への的確な対応ができる人材の育成に取り組みます。

組織機構については、「県民しあわせプラン」の次期戦略計画や国による地域主権改革の動向等を踏まえ、県の施策を効果的に推進でき、わかりやすく、簡素で効率的な組織体制を目指します。また、定員管理については、新たな行政需要等にはスクラップアンドビルドで対応するとともに引き続きスリムで効率的な行政運営を進めます。

多様な人材を育む組織文化を創造し、県民の信頼に応える県庁を確立していくため、人材育成ビジョンに基づく人材育成を推進します。

職員自らが積極的にこころと体の健康づくりに取り組めるよう、職員に対する健康指導や就労上の措置等を実施します。

<主な事業>

みえ政策評価システム等推進事業【基本事業名：61001 体系的な行政運営の推進】

（第2款 総務費 第1項 総務管理費 4行政改革推進費）

予算額：(21) 7,355千円 (22) 13,187千円

事業概要：「みえ政策評価システム」を運用し、施策や事業展開の評価を的確に行います。

また、評価結果等を「県政報告書」としてまとめ、評価表とともに公表します。

危機管理推進事業【基本事業名：61002 危機管理の推進】

（第2款 総務費 第2項 企画費 5危機管理費）

予算額：(21) 3,856千円 (22) 7,331千円

事業概要：危機発生時に迅速・的確な対応ができるよう階層別の職員研修や室長危機管理研修などを行います。

総務事務集中化事業【基本事業名：61003 簡素で効率的な組織運営の推進】

（第2款 総務費 第1項 総務管理費 2人事管理費）

予算額：(21) 333,082千円 (22) 251,032千円

事業概要：これまで各部局や地域機関等で行われてきた職員のサービス・給与、旅費、福利厚生等の総務事務を「総務事務センター（通称）」に集中化するとともに、開発した総務事務システム及び外部活力を活用することで職員の利便性の向上、効率的・効果的な事務処理を行います。

人事管理事務事業【基本事業名：61004 人材育成の推進】

（第2款 総務費 第1項 総務管理費 2人事管理費）

予算額：(21) 53,708千円 (22) 94,239千円

事業概要：職員の育成を図り、人材活用を推進するため、職員サポートの充実などに取り組むとともに、勤務評定制度の適正な運用と充実、労使協働の推進に取り組みます。

職員健康管理運営事業【基本事業名：61004 人材育成の推進】

（第2款 総務費 第1項 総務管理費 2人事管理費）

予算額：(21) 77,783千円 (22) 81,335千円

事業概要：各種の健康管理事業、健康診断事業、総合的なメンタルヘルス対策事業等を実施し、職員自らがこころと体の健康づくりに取り組めるよう支援します。